

令和3年(2021年)10月22日(金曜日)

県内2組が優秀賞

プラチナ大賞 三島のNPOと浜松市など

地域課題の解決に取り組み自治体や企業などをたたえる「第9回プラチナ大賞」の最終審査会が21日、都内で開かれ、県内ではNPO法人グラウンドワーク三島(三島市)と、浜松市・浜松地域イノベーション推進機構(イノベーション推進機構)と、世代自動車センター(浜松市)・県が優秀賞を受賞した。

同NPOは環境資源の再生や地域のにぎわい創出、耕作放棄地の有効利用など多分野で街の活性化に貢献してきた。浜松市などは電動化対応が急務となっている輸送機器関連の中小企業を対象にした細やかな技術支援が認められた。

全国から応募があった59団体のうち、1次審査を通過した15団体が最終審査に残った。それぞれの代表者がオンラインで活動を発表し、表彰式も映像を介して行われた。プラチナ大賞は自治体首長や企業経営者らでつくるプラチナ構想ネットワーク(東京都千代田区)などが主催した。大賞は北海道大COI拠点・岩見沢市と、三井住友信託銀行の2組が選ばれた。

(東京支社・青木功太)